

信州未来アイデアコンテスト2020

エントリーNO.32

# よりよい防災マップ

長野県長野工業高等学校

ポヨヨグラム

田中凜太郎

千村哲生

中村龍太郎

前山響矢

# ～テーマ選定理由1～

今のハザードマップよりも  
より詳しくして災害時にしっかりと  
対応できるようにするため。

## ～テーマ選定の理由2～

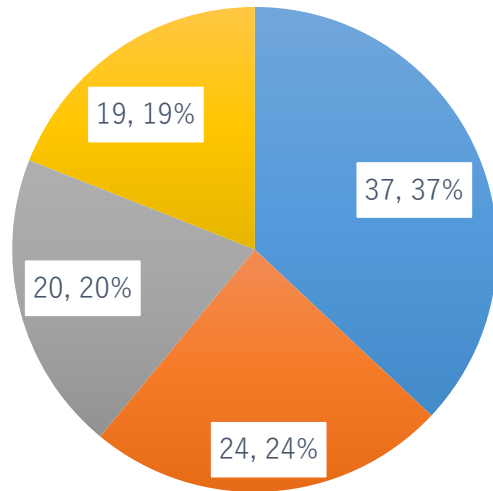
学校付近のコンビニエンスストアや、wifi、自動販売機（災害ベンダー）の場所をハザードマップに載せて災害時に情報収集や食料確保などに役立てたいと思ったから。

# 現状

- 情報収集が不十分
- 災害時に食料や水分などの確保が足りていない。
- 災害時に通信環境のある場所が分からない。
- ハザードマップを見る機会が少ないため、避難経路などが確認できていない。

# 現在のハザードマップ確認率

ハザードマップを見たことがありますか？



- ハザードマップを確認して自宅付近の水害リスクを確認している
- ハザードマップをみたことはあるが、自宅付近の水害リスクの確認まではしていない
- ハザードマップを聞いたことはあるが、見たことがない
- ハザードマップがどこで見られるか、わからない、知らない

- ・ 自宅付近の水害リスクを確認している人が約4割とかなり少ない。
- ・ 災害に対する意識が低い。そのためもっとハザードマップを知ってもらう必要がある。

# オリジナルハザードマップ 確認により得られる効果

- 付近の情報をすばやく正確に確認できる。
- 付近のコンビニエンスストアを確認できて、災害時に食料や水分を確保できる。
- ある程度、通信環境を確保できる。
- これを機にハザードマップに関心の無かった人たちに関心を持たせることができる。

# 災害ベンダー(災害救援自販機)

- ・災害が起こっても、飲料水が確保できる自動販売機(災害ベンダー)
- ・災害時、停電になっても非常用電源に切り替えて停電時でも飲み物が確保できる。



# Wifi環境、コンビニのある場所

## Wifi環境

- ・コンビニエンスストアや図書館などのフリーWifiのある環境をハザードマップに載せることで情報収集がしやすくなる。

## コンビニ

- ・危険地域外のコンビニエンスストアの場所をマークすることで安全に食料や水分を確保することができる。
- ・場合によってはトイレの提供や休憩所として利用できる。



## 実現可能か…？

- 付近の情報をハザードマップに掲載するだけなので、誰でも簡単に作成できるので実現可能。
- 調べた分、災害時により良い情報提供や食料、水分確保もできる。また、休憩場所やトイレなど災害時に大事になってくることの対応がハザードマップ一枚で把握できるため、ハザードマップに関心がない人もそうでない人も改めて災害やハザードマップに関心や意識を高められる。

# 感想

- 調べていく中で自分たちの災害に対する意識が向上した。災害対応に関心をもてたので良かった。
- 災害ベンダーなどの災害時に飲料を提供してくれるシステムがあることに驚いた。
- コンビニは、トイレやフリーWifi、休憩所の提供があって災害時も役立つ。
- これを機に災害やハザードマップに対する意識や関心を持ってくれる人が増えてくれればいいと思う。